



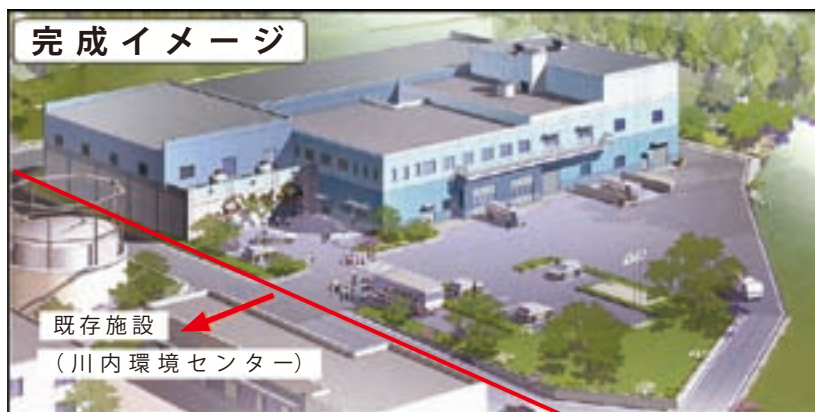
# 汚泥再生処理センターを整備します。

し尿処理施設

家庭や事業所などから排出される、し尿や浄化槽汚泥を処理している川内環境センター（既存施設）の老朽化のため、汚泥再生処理センターを整備することとなりました。汚泥再生処理センターは、し尿および浄化槽汚泥を適正に処理するとともに、処理工程で発生する汚泥と下水道汚泥を資源としてとらえ、炭化製品に再資源化する施設です。循環型社会の形成を実現するため、廃棄物の資源化を図り、資源の有効活用に努めます。

## 1 施設の概要

- (1) 事業場所  
薩摩川内市五代町字平松
- (2) 工事期間（3年間）  
平成 21 年度から平成 23 年度
- (3) 処理規模：224KL/日  
〔し尿：61KL/日〕  
〔浄化槽汚泥：163KL/日〕  
下水道汚泥：3t/日
- (4) 処理方式  
浄化槽汚泥の混入比率の高い膜分離  
高負荷脱窒素処理方式
- (5) 資源化方式  
炭化方式

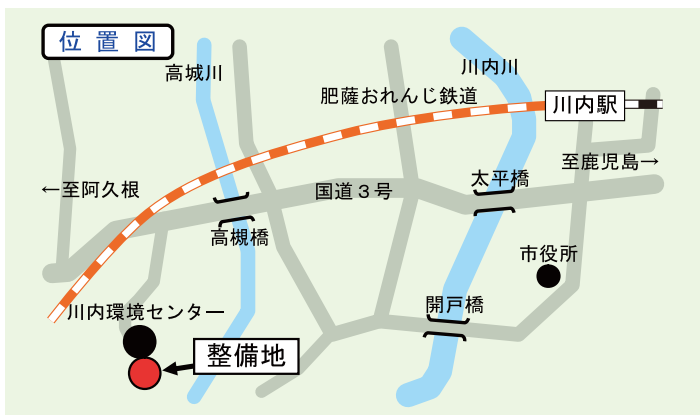


## 2 炭化製品

し尿および浄化槽汚泥を処理する工程で発生する汚泥と下水道汚泥は、炭化炉で炭化製品に生成されます。この炭化製品は土壌改良剤などに再利用され、有効活用されます。

## 3 契約の締結

- (1) 事業方式  
事業者の選定に当たり、事業の透明性を確保するとともに、事業費の削減を実現するため、（\*1）総合評価落札方式および（\*2）DBO (Design-Build-Operate) 方式を採用した、汚泥再生処理センター施設整備運営事業として進めてまいりましたが、以下の事業者と契約することについて、平成 21 年第 3 回薩摩川内市議会定例会で可決されました。
- (2) 契約の相手  
㈱九電工を代表企業とする九電工グループ 8 社（㈱九電工・新和技術コンサルタント㈱・㈱植村組・㈱大本組九州支店・㈱川内北電工・アタカ大機㈱・エスエヌ環境テクノロジー㈱・㈱日本管財環境サービス九州支店）と、九電工グループが新たに設立した㈱資源循環サービスと事業契約を締結しました。
- (3) 契約額  
全体の契約額 8,666,807,355円  
〔建設工事（設計を含む）請負契約額 4,174,485,000円〕  
〔処理委託（15年間の維持管理・運営）契約額 4,492,322,355円〕  
\*金額はすべて消費税を含む
- （\*1）総合評価落札方式  
従来の価格のみによる落札方式とは異なり、「価格」と「価格以外の要素」（技術点など）を総合的に評価する落札方式であり、具体的には入札者が示す価格と技術提案の内容を総合的に評価し、落札者を決定する落札方式です。
- （\*2）DBO 方式とは、施設の設計・建設また、施設の維持管理・運営を一括して契約するもので、平成 24 年度から平成 38 年度までの維持管理・運営業務委託もあわせて契約することになります。



◎汚泥再生処理センター施設整備運営事業の詳細は、市ホームページに掲載してあります。

■問合せ先＝本庁環境施設整備室（内線 2501）

